

2020年2月9日

## 第48回日本免疫学会に参加して

北海道大学薬学部 薬科学科4年 衛生化学研究室

佐々木悠斗

この度は、BioLegend/Tomy Digital Biology「LEGEND Travel Award Program」に選考していただき誠にありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。本アワードプログラムを利用して2019年12月11日から2019年12月13日にかけて静岡県のアクトシティ浜松で行われた第48回日本免疫学会学術集会に参加してまいりました。日本免疫学会学術集会は、日本免疫学会(The Japanese Society for Immunology: JSI)が年に一度日本各地で開催する学術集会であり、全国各地から学部学生、大学院生、博士、ポスドク、研究者などが参加しますが、この度初めて参加させていただきました。

本学会ではポスター発表及び口頭発表から構成される発表のセッションや国内外の免疫の研究者による国際シンポジウムセッション、様々なテーマから構成されるセミナーのセッションなど多くのセッションから構成されており、私自身が行った発表としては”Organ-specific autoimmune diseases(臓器特異的自己免疫疾患)”という部門において”The function of signal-transducing adaptor protein-1(STAP-1) in autoimmune hepatitis”というテーマでポスター発表をさせていただきました。多くの方にポスター発表にいらしていただき様々な質問やアドバイスをいただきました。また、自分が発表した部門である臓器特異的自己免疫疾患の部門はもちろんのこと、例えば”T cell response(T細胞応答)” “Tolerance and Immune suppression(免疫寛容・抑制)”など様々な部門の口頭発表やポスター発表を聞くことで自分の知見を広め、今後の研究生活に生かせるヒントを見出すことができました。

本学会で最も有意義な機会となったのは2018年にノーベル医学生理学賞を受賞された本庶佑先生の記念講演です。本庶先生の記念講演では免疫学の歴史から現在のホットなテーマまで話していただき、免疫学の無限の可能性を改めて感じることができました。免疫という観点から現在根本的な治療法が存在しない疾患や完治させることがなかなか難しい疾患に対して様々なアプローチを行なっていき、新薬へとつなげていけるような研究者を目指して今後もさらに精進していきたいと強く思った今回の学術集会となりました。

最後になりますが、今回の第48回日本免疫学会へのサポートをいただいたBioLegend/Tomy Digital Biology様には改めて感謝を申し上げます。このようななかなか得ることができない貴重な機会を提供していただき誠にありがとうございます。今回の経験を今後の進学先の大学院での研究に生かしてきました本学会などで発信できるように励んでいきたいと思っております。